



施政方針 — 重点項目の取り組み

※下記は新年度予算(案)のうち、主な新規・拡充事業を掲載しています

「成熟したまち」—

人々が支え合い 共に心豊かに生きる 共生のまち



「新しいことにチャレンジできる仕組み」を整え、まち全体に元気を生み出します

「まちを元気にする」
地域の創生

■ 教育・人づくり

- ・就学前から卒業後に至るまでをサポート
「特別支援教育サポートセンター」の設置
- ・小学校特別教室などへの空調設置

■ 子育て支援

- ・妊娠・出産・子育て期までのワンストップ相談窓口「チャッピーサポートセンター」の拠点を拡充
- ・産後の心と身体をケア「宿泊型の産後ケア」創設
- ・待機児童解消に向けた認可保育所の新設補助

■ まちのブランド創造

- ・観光施策の指針「観光ビジョン」の策定
- ・青野ダム記念館などを活用した「地場産レストラン」の整備

■ 文化・スポーツの充実

- ・文化施策の指針「文化ビジョン」の策定
- ・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」のプレイベントを開催
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連イベント(聖火リレー、パブリックビューイング)

■ 産業創造・農業振興

- ・起業家育成の拠点「インキュベーション施設」の運営支援
- ・認定農業者等による新規就農希望者の受け入れ支援



市街地・ニュータウン・農村など、各地域の特性を踏まえ、まちの賑わいと潤いを取り戻し、発展させます

「まちを強くする」
まちの再生

■ 里山・環境の保全

- ・里山保全活動へのアドバイザー派遣
- ・新ごみ処理施設の整備
- ・合葬墓の整備

■ まちの魅力向上・移住促進

- ・空き家の活用支援
- ・新婚世帯の転入応援補助
- ・ニュータウンの再生調査研究

■ 都市基盤の整備

- ・三田駅前Cブロック地区、福島地区、相野地区の都市基盤整備
- ・広野地区、対中町地区のまちづくり支援

■ 持続可能な交通ネットワーク

- ・地域外出支援おでかけサポート
- ・自動運転バスの実証実験



「人と人とのつながり」を大切にし、誰もが住みやすく心のバリアのないコミュニティを創ります

「まちを優しくする」
人と人との共生

■ 人と人とのつながり

- ・「(仮称)三田市人と人との共生条例」の検討

■ 健康福祉の充実

- ・市民の健康づくりの促進(健康マイレージ)
- ・大腸がん検診の受診環境の充実(郵送方式導入)
- ・生活困窮者等の自立促進(就労準備支援、子どもの学習・生活支援)

■ 地域医療・介護

- ・医療、介護、福祉等の多職種連携情報共有システムの運営支援

■ 安全・安心の確保

- ・災害弱者に配慮した避難所環境の整備
- ・地域消防力の強化(第5分団器具庫の整備等)
- ・通学路防犯カメラの増設



成熟のまちづくりの基盤づくりと行政サービスの向上に努めます

成熟のまちづくりを進める上で、多様な変化に適切に対応するための基盤づくりを行います。また、技術の進歩に適切に対応することで、行政サービスの向上にも努めます。

成熟のまちづくりの基盤づくり

■ 第5次総合計画策定事業

本市の目指すべき将来像とその実現に向けた具体的な取り組みを定めるため、令和4年度からのスタートに向けた第5次総合計画の策定を進めます

■ 市広報紙リニューアル

まちづくりを「自分ごと」として考え動き出すきっかけとなる「人・地域・まちをつなぐ」広報紙へリニューアルし、さらなる協働のまちづくりを目指します

■ 公共施設の適正管理

各施設が安全・安心・快適に利用できるよう必要な改修等を行います

- ▶ 市民センター、図書館の改修
- ▶ 学校、園、給食センターの改修
- ▶ 小学校大規模改修(すずかけ台小・学園小)
- ▶ 中学校大規模改修(けやき台中) など

行政サービスの向上

■ 窓口キャッシュレス決済導入

手数料等の支払い方法にスマートフォンによるキャッシュレス決済を導入します

■ ICT活用事業(電子申請、AI-OCR※、ペーパーレス会議システム)

ICTの活用により、市民の利便性向上と市役所の事務の効率化を推進します

※人工知能による文字認識技術